



平成29年7月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年6月12日

上場会社名 株式会社ジャパンミート 上場取引所 東
 コード番号 3539 URL http://www.japanmeat.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)境 正博
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員 経理部長 (氏名)杉山 洋子 (TEL)03(6453)6810
 四半期報告書提出予定日 平成29年6月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年7月期第3四半期の連結業績(平成28年8月1日～平成29年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年7月期第3四半期	77,019	5.8	3,173	△9.0	3,277	△6.0	2,184	4.3
28年7月期第3四半期	72,798	—	3,486	—	3,486	—	2,093	—

(注) 包括利益 29年7月期第3四半期 2,337百万円(12.1%) 28年7月期第3四半期 2,085百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年7月期第3四半期	81.87	—
28年7月期第3四半期	93.26	—

(注) 平成28年2月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年7月期第3四半期	39,699	21,244	53.5
28年7月期	35,705	19,486	54.6

(参考) 自己資本 29年7月期第3四半期 21,244百万円 28年7月期 19,486百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年7月期	—	0.00	—	10.00	10.00
29年7月期	—	10.00	—		
29年7月期(予想)				10.00	20.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年7月期の連結業績予想(平成28年8月1日～平成29年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	100,331	3.2	4,295	0.3	4,394	2.4	2,440	△4.6
								91.46

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 社 (社名) 、除外 社 (社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

29年7月期3Q	26,679,500株	28年7月期	26,679,500株
29年7月期3Q	42,767株	28年7月期	—
29年7月期3Q	26,679,323株	28年7月期3Q	22,450,047株

- (注) 当社は平成28年2月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。期末発行済株式数及び期中平均株式数につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日において当社グループが判断したものであります。

(業績の状況)

当第3四半期連結累計期間(平成28年8月1日～平成29年4月30日)における我が国経済は、円安に伴う輸出の回復やインバウンド需要の回復、消費マインドの持ち直しを受けて製造業・非製造業ともに雇用・所得環境など改善の傾向が見られましたが、世界経済においては、中国を始め新興国の景気減速や、英国の欧州連合離脱決定、米国新政権による政策を不安視する動きや、地政学的リスクの高まりなど、先行きは不透明感が増しており、景気は足踏みの状況が続いております。

食品小売業界におきましては、少子高齢化により業界規模が縮小していく恐れがあるほか、足元では節約志向の高まりによる買い控え、人口減少による顧客数の減少、食料品を扱う他業態との競争の激化、ネットショップ・オンラインショップなど他業界への顧客の流出など、引き続き厳しい状況にあります。

このような状況のもと、当社グループは、お客様の暮らしの基本である食を通して、安心・安全を守り、値頃感があり、変化に富んだ店づくりをすることで、さらなるご支持をいただけるような店舗運営に努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は77,019百万円と前年同四半期と比べて4,220百万円(5.8%)の増収、営業利益は3,173百万円と前年同四半期と比べて312百万円(9.0%)の減益、経常利益は3,277百万円と前年同四半期と比べて209百万円(6.0%)の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,184百万円と前年同四半期と比べて90百万円(4.3%)の増益となりました。

当社グループにおける事業セグメントごとの状況は、次のとおりであります。

① スーパーマーケット事業

スーパーマーケット事業につきましては、大型商業施設内店舗「ジャパンミート生鮮館」、関東圏単独店舗「ジャパンミート卸売市場」、北関東で展開する地域密着型店舗「パワーマーケット」、東京都内を中心に展開する業務用スーパー「肉のハナマサ」を展開しております。

いずれの店舗におきましても、来店される顧客が楽しんでお買い物ができる店づくりを目指し、当社グループの強みである精肉部門を中心とした生鮮各部門および一般食品から惣菜にいたるまで、それぞれの部門が商品力・技術力に磨きをかけ、お客様のニーズにあった値頃感のある商品展開をすすめ、より安心・安全な商品を提供できるよう、努めてまいりました。

商品の販売につきましては、特定の商品を大量に陳列し、値頃感がある商品を顧客へアピールすることで購買意欲を高める「異常値販売」を定期的を実施することで、顧客数及び顧客当たりの買上点数増加につながり、売上高が増加しました。

また、平成28年6月より茨城県東茨城郡に新設しました新加工物流センターでの大量かつ効率的な精肉加工に加え、店舗内においても必要に応じて精肉加工を行い、売れ筋に対応した商品の速やかな提供により販売機会のロスを削減するなど、戦略的、効率的な販売に努めております。商品の仕入につきましては、当社の新加工物流センターにおける大量備蓄機能を活用することで、食材価格変動の影響を受けにくい商品仕入体制を構築し、採算の安定と在庫の確保を図ってまいりました。

当第3四半期連結累計期間の設備投資の状況は、平成28年10月に「肉のハナマサ」立川店(東京都立川市)、12月に「ジャパンミート卸売市場」越谷店(埼玉県越谷市)、平成29年3月に「肉のハナマサ」亀戸店(東京都江東区)を開店いたしました。また、既存店舗におきましては、平成28年10月に「パワーマーケット」見川店、「ジャパンミート生鮮館」守谷店の改装を行いました。これにより当第3四半期連結会計期間末時点におけるスーパーマーケット事業の店舗数は78店舗になりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間におけるスーパーマーケット事業の売上高は75,494百万円と前年同四半期と比べて3,975百万円(5.6%)の増収、セグメント利益(営業利益)は3,014百万円と前年同四半期と比べて315百万円(9.5%)の減益となりました。

② その他

その他につきましては、外食事業、イベント関連事業、アウトソーシング事業で構成されております。

外食事業につきましては、主に「焼肉や漫遊亭」を展開しております。当第3四半期連結累計期間におきましても、得意とする精肉の調達力、ノウハウを活かし、新鮮で高品質な料理を安価でご提供するよう努めてまいりました。また、おいしい商品と快適な食事空間を提供するという基本方針のもと、新メニューの開発をす

すめ、他店との差別化を図り、お客様が楽しく食事ができる店づくりに努めてまいりました。

イベント関連事業につきましては、平成29年2月にAATJ(株)の株式を取得し連結子会社化いたしました。AATJ(株)は「肉フェス」など食に関わるイベントの展開、国内外のイベント制作、運営などイベント企画事業を行っております。当第3四半期連結累計期間における活動状況といたしまして、平成29年3月に「餃子フェス」駒沢オリンピック公園(東京都世田谷区)、平成29年4月28日から「肉フェス TOKYO 2017 WONDERLAND」お台場(東京都江東区)を開催いたしました。今後も食肉及び地域の食文化の魅力を国内外に発信する取り組みを行ってまいります。

アウトソーシング事業につきましては、平成29年4月に(株)アクティブマーケティングシステム(以下「AMS」という。)の株式を取得し、連結子会社化いたしました。AMSは、スーパーマーケット業界における、レジ業務の受託をコアビジネスとしたアウトソーシング事業を行っております。スーパーマーケットの実務経験に基づいた独自のノウハウによって、顧客のニーズに応える、質の高いサービスを提供しております。当社におきましては、スーパーマーケット事業の「ジャパンミート生鮮館」、「ジャパンミート卸売市場」、「パワーマーケット」においてレジ業務をAMSへ委託しております。レジ業務のプロフェッショナルとして新規顧客開拓を行い、業容の拡大に努めてまいります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間におけるその他の事業の売上高は1,983百万円と前年同四半期と比べて296百万円(17.6%)の増収、セグメント利益(営業利益)は145百万円と前年同四半期と比べて2百万円(1.4%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(財政の状態)

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間における流動資産は、前連結会計年度と比べ2,019百万円増加し、19,359百万円(前連結会計年度末比11.6%増)となりました。主な要因は、期末日が休日であったことから資金決済が翌月に持ち越されたことを含む現金及び預金の増加822百万円及びたな卸資産の増加755百万円であります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間における固定資産は、前連結会計年度と比べ1,974百万円増加し、20,339百万円(前連結会計年度末比10.8%増)となりました。主な要因は、AATJ(株)及び(株)アクティブマーケティングシステムの連結子会社化による商標権の増加558百万円、のれんの増加777百万円によるものであります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間における流動負債は、前連結会計年度と比べ954百万円増加し、13,473百万円(前連結会計年度末比7.6%増)となりました。主な要因は、期末日が休日であったことから決済が翌月に持ち越されたことを含む買掛金の増加額782百万円によるものであります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間における固定負債は、前連結会計年度と比べ1,280百万円増加し、4,980百万円(前連結会計年度末比34.6%増)となりました。主な要因は、M&A資金を含む長期借入金の増加額824百万円によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間における純資産は、前連結会計年度と比べ1,758百万円増加し、21,244百万円(前連結会計年度末比9.0%増)となりました。主な要因は親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等による利益剰余金の増加額1,650百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、平成28年9月13日付発表の「平成28年7月期 決算短信」の記載から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,429	11,251
売掛金	969	1,262
たな卸資産	3,462	4,218
その他	2,479	2,626
流動資産合計	17,340	19,359
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,733	6,896
その他(純額)	3,904	3,993
有形固定資産合計	10,637	10,890
無形固定資産		
のれん	2,434	3,211
その他	166	700
無形固定資産合計	2,601	3,912
投資その他の資産		
敷金及び保証金	4,044	4,261
その他	1,109	1,407
貸倒引当金	△27	△130
投資その他の資産合計	5,126	5,537
固定資産合計	18,365	20,339
資産合計	35,705	39,699

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年4月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,444	7,227
短期借入金	846	1,016
1年内返済予定の長期借入金	399	586
未払法人税等	1,285	452
賞与引当金	279	158
その他	3,263	4,033
流動負債合計	12,518	13,473
固定負債		
長期借入金	2,475	3,299
退職給付に係る負債	275	298
資産除去債務	418	433
その他	531	949
固定負債合計	3,699	4,980
負債合計	16,218	18,454
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,229	2,229
資本剰余金	2,350	2,350
利益剰余金	14,763	16,414
自己株式	—	△45
株主資本合計	19,342	20,948
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	149	302
退職給付に係る調整累計額	△6	△5
その他の包括利益累計額合計	143	296
純資産合計	19,486	21,244
負債純資産合計	35,705	39,699

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年8月1日 至平成28年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年8月1日 至平成29年4月30日)
売上高	72,798	77,019
売上原価	51,605	54,801
売上総利益	21,193	22,217
販売費及び一般管理費	17,707	19,044
営業利益	3,486	3,173
営業外収益		
受取ロイヤリティー	49	49
受取手数料	20	7
その他	34	65
営業外収益合計	104	122
営業外費用		
支払利息	23	15
上場関連費用	76	—
その他	4	2
営業外費用合計	103	18
経常利益	3,486	3,277
特別利益		
受取補償金	270	99
段階取得に係る差益	—	243
特別利益合計	270	343
税金等調整前四半期純利益	3,756	3,620
法人税、住民税及び事業税	1,591	1,337
法人税等調整額	71	98
法人税等合計	1,663	1,436
四半期純利益	2,093	2,184
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,093	2,184

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年8月1日 至 平成28年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年8月1日 至 平成29年4月30日)
四半期純利益	2,093	2,184
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8	152
退職給付に係る調整額	0	0
その他の包括利益合計	△8	153
四半期包括利益	2,085	2,337
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,085	2,337
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成27年8月1日 至 平成28年4月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	スーパー マーケット事業				
売上高					
外部顧客への売上高	71,112	1,686	72,798	—	72,798
セグメント間の内部売上高 又は振替高	406	—	406	△406	—
計	71,518	1,686	73,205	△406	72,798
セグメント利益	3,329	143	3,473	12	3,486

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外食事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額12百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成28年8月1日 至 平成29年4月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	スーパー マーケット事業				
売上高					
外部顧客への売上高	75,036	1,983	77,019	—	77,019
セグメント間の内部売上高 又は振替高	457	—	457	△457	—
計	75,494	1,983	77,477	△457	77,019
セグメント利益	3,014	145	3,159	13	3,173

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外食事業及びイベント関連事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額13百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。